



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 サイバネットシステム株式会社
コード番号 4312 URL <http://www.cybernet.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 高橋 俊之

TEL 03-5297-3010

四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	4,169	0.7	322	△10.3	372	△0.9	201	2.5
25年3月期第1四半期	4,141	7.2	359	△14.3	375	△13.1	196	△22.0

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 430百万円 (20.7%) 25年3月期第1四半期 356百万円 (△14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	645.74	—
25年3月期第1四半期	629.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	17,881	75.8	13,555	75.8		
25年3月期	17,504	75.9	13,292	75.9		

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 13,555百万円 25年3月期 13,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	520.00	—	520.00	1,040.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	520.00	—	520.00	1,040.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,489	4.3	423	10.9	421	2.1	225	16.3	724.43
通期	11,330	—	447	—	441	—	236	—	759.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月21日に開催された定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、平成25年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、経過期間となる平成25年12月期は、平成25年4月1日から平成25年12月31日の9ヶ月間を連結対象期間としております。なお、12月決算の子会社につきましては、従来通り、平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。

[参考]

下記の%表示(調整後増減率)は、当社の前期業績を9ヶ月(平成24年4月1日から平成24年12月31日)の期間に合わせて業績予想と比較した増減率です。

売上高 11,330 7.6% 営業利益 447 86.2% 経常利益 441 25.3% 当期純利益 236 46.8% (単位:百万円)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	324,000 株	25年3月期	324,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	12,417 株	25年3月期	12,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	311,583 株	25年3月期1Q	311,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、経営ビジョン「First Contact Company ～お客様・パートナーが、最初に相談する企業でありたい～」の下、中期経営計画において掲げた次の経営基本戦略及び重点施策に取り組んでまいりました。

4つの経営基本戦略及び重点施策

- ①新しい価値を持つ当社独自のソリューションの開発と提供
様々な領域にまたがる複合・統合ソリューション（マルチドメインソリューション）の推進
- ②システムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）（※1）市場の創造と拡大
複合領域物理モデルシミュレータを利用したシステムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）環境の整備と推進
- ③顧客との深いコミュニケーション機会の創出により、多様なニーズの把握とその対応強化
自動車業界への拡販戦略
- ④当社グループ製品及びソリューションの海外展開の加速化
韓国進出、北米・欧州販売網の強化

（※1）システムレベル・シミュレーション（1Dシミュレーション）とは、自動車・船舶・工作機械・ロボットなどの制御対象が持つ様々な機能を統合的かつ高速にシミュレーションするための手法。

当期は、2年目となる中期経営計画の推進を加速化させるため、顧客志向によるマルチドメインソリューションの開発及びマーケティング体制の強化と共に、自動車業界にフォーカスした営業本部を新設し、主力商品並びに当社グループ製品を中心としたサイバネットソリューションサービス販売に注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績については、自動車業界向けサイバネットソリューション販売は、堅調に推移し前年同期の水準を大きく上回りました。また、主力商品等の保守契約更新は、堅調に推移いたしました。しかしながら、電機業界の主要顧客の多くが、前年度に引続き新規投資予算の執行を凍結・先送りする傾向にあり、新規ライセンス販売は前年同期を下回るなど厳しい事業活動となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は41億69百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は3億22百万円（前年同四半期比10.3%減）、経常利益は3億72百万円（前年同四半期比0.9%減）、四半期純利益は2億1百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（CAEソリューションサービス事業）

CAEソリューション事業における各分野では、機械系分野においては、自動車業界、インフラ業界、エネルギー業界等向けの新規ライセンス販売が比較的活発であったことに加えて、保守契約の更新が順調に推移した結果、前年同期の水準を上回りました。

光学系分野においては、ディスプレイ業界の低迷により、照明設計解析ソフトウェアは、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が低調に推移いたしました。一方、光学設計解析ソフトウェアは、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が堅調に推移いたしました。また、前期末より自社開発・販売を開始した光計測機器事業は、国内及び中国向けに製品評価と共に引合いが増加しております。その結果、光学系分野は、前年同期の水準を上回りました。

エレクトロニクス分野においては、主力EDAソフトウェアの電子・電気回路設計システムは、新規ライセンス販売が低調でしたが、保守契約の更新が堅調に推移いたしました。システムLSIの上流設計・検証に利用するEDAソフトウェアは、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が好調に推移いたしました。また、PCB分野のエンジニアリングサービスは、大口案件の受注もあり、好調に推移いたしました。その結果、エレクトロニクス分野は、前年同期の水準を上回りました。

制御系分野においては、当社グループ製品である複合領域物理モデリング環境及び数式処理・数式モデル設計環境は、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が好調に推移いたしました。エンジニアリングサービスが低調に推移いたしました。その結果、制御系分野は、前年同期の水準を下回りました。

新規分野においては、注力商品であるイノベーション支援ソフトウェアは、新規ライセンス販売が低調でしたが、保守契約の更新は堅調に推移いたしました。3次元モデラーは、自動車業界の顧客からの大口案件などもあり、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が好調に推移いたしました。また、当社グループ製品である解析プロセス統合/最適化CAEソフトウェアと公差解析ソフトウェアは、新規ラ

イセンス販売が好調に推移いたしました。その結果、新規分野は、前年同期の水準を上回りました。

汎用可視化処理関連ビジネスにおいては、防災・減災意識の高まりによる都市環境、土木、気象等の分野における解析データの可視化需要が増加し、関連する新規ライセンス販売が好調に推移いたしました。また、AR (Augmented Reality: 拡張現実) ビジネスは、スマートフォンの普及に伴い、引合いが大幅に増加し、好調に推移いたしました。その結果、汎用可視化処理関連ビジネスは、前年同期の水準を上回りました。

教育ビジネスの「CAEユニバーシティ」は、顧客の教育投資マインドの回復から大手製造業向けの設計者CAE教育研修などが好調に推移いたしました。その結果、教育ビジネスは、前年同期の水準を上回りました。

以上の結果、売上高は38億13百万円（前年同四半期比4.8%増）、セグメント利益（営業利益）は7億24百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

（ITソリューションサービス事業）

ITソリューションサービス事業は、ディスク暗号化ソフトウェアが好調に推移いたしました。主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションは、大型案件開拓が遅れ、前年同期の水準を下回りました。

以上の結果、売上高は3億55百万円（前年同四半期比29.3%減）、セグメント利益（営業利益）は34百万円（前年同四半期比28.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、135億70百万円（前連結会計年度末比8億11百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加10億74百万円、受取手形及び売掛金の減少2億23百万円、有価証券の減少1億14百万円によるものです。

固定資産は、43億11百万円（前連結会計年度末比4億34百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の減少5億58百万円、のれんの増加1億10百万円によるものです。

この結果、当第1四半期末における総資産は、178億81百万円（前連結会計年度末比3億77百万円の増加）となりました。

（負債）

流動負債は、35億97百万円（前連結会計年度末比1億10百万円の増加）となりました。これは主に、未払費用の増加1億10百万円、預り金の増加1億円、賞与引当金の減少1億64百万円によるものです。

固定負債は、7億28百万円（前連結会計年度末比3百万円の増加）となりました。

この結果、当第1四半期末における負債合計は、43億25百万円（前連結会計年度末比1億14百万円の増加）となりました。

（純資産）

当第1四半期末における純資産は、135億55百万円（前連結会計年度末比2億63百万円の増加）となりました。これは主に、為替換算調整勘定の増加2億8百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.9%から75.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが提供する様々なCAEソリューションサービスは、ものづくり企業の品質向上、開発期間の短縮、開発コスト削減、製品の安全性の向上並びに環境に配慮した製品開発に貢献しております。当社グループは、引き続き営業及びマーケティング並びに開発体制を強化しながら、顧客の複雑かつ高度な課題を解決すべく、マルチドメインソリューション(様々な領域にまたがる複合・統合ソリューション)の推進に注力し、付加価値サービスを提供してまいります。

当期の経営環境につきましては、現政権による民間投資を喚起する成長戦略への期待から、国内景気回復が期待されるものの、欧州諸国の財政不安や中国の景気減速、原油及び原料等の輸入品価格の高騰等の影響から国内景気の先行き不透明感は払拭されておられません。

しかしながら、当社グループは、自動車業界を初めとしたものづくり企業のグローバル競争環境における研究開発投資が、業績回復を背景として確実に拡大していくものと推測しています。

これらを勘案した結果、平成25年4月26日発表の通期業績予想に変更はありません。
なお、連結業績見通しの算定に使用しました当期の為替相場は、92.00円/米ドルを想定したものであり、計画に基づいたドル建て原価の50%相当額を平均約90円/米ドルで為替予約済みであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,082,483	3,156,569
受取手形及び売掛金	3,346,732	3,123,319
有価証券	3,024,552	2,909,888
商品及び製品	18,599	13,451
仕掛品	4,150	40,081
原材料及び貯蔵品	3,617	7,292
短期貸付金	3,001,779	3,081,000
その他	1,282,656	1,244,225
貸倒引当金	△5,709	△5,487
流動資産合計	12,758,860	13,570,342
固定資産		
有形固定資産	280,312	318,563
無形固定資産		
のれん	3,069,406	3,179,552
その他	178,097	180,670
無形固定資産合計	3,247,503	3,360,223
投資その他の資産		
投資有価証券	825,185	266,485
その他	401,044	374,453
貸倒引当金	△8,706	△8,670
投資その他の資産合計	1,217,522	632,268
固定資産合計	4,745,338	4,311,054
資産合計	17,504,199	17,881,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,308,423	1,207,697
未払法人税等	122,024	153,815
賞与引当金	350,397	185,958
役員賞与引当金	17,420	5,690
その他	1,688,291	2,044,075
流動負債合計	3,486,556	3,597,237
固定負債		
退職給付引当金	688,633	691,368
その他	36,212	36,970
固定負債合計	724,846	728,339
負債合計	4,211,403	4,325,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	12,183,665	12,217,500
自己株式	△781,567	△781,567
株主資本合計	13,306,098	13,339,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,574	△227
繰延ヘッジ損益	47,475	39,722
為替換算調整勘定	△32,203	176,391
その他の包括利益累計額合計	△13,302	215,886
純資産合計	13,292,795	13,555,820
負債純資産合計	17,504,199	17,881,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,141,815	4,169,041
売上原価	2,453,444	2,395,081
売上総利益	1,688,370	1,773,959
販売費及び一般管理費	1,328,832	1,451,348
営業利益	359,538	322,611
営業外収益		
受取利息	6,918	10,667
受取配当金	2,536	—
為替差益	—	15,596
助成金収入	11,389	18,844
その他	1,529	4,613
営業外収益合計	22,373	49,722
営業外費用		
売上割引	102	37
為替差損	5,746	—
その他	217	0
営業外費用合計	6,066	37
経常利益	375,845	372,296
特別利益		
固定資産売却益	—	585
投資有価証券売却益	279	13,568
特別利益合計	279	14,154
特別損失		
固定資産売却損	—	251
固定資産除却損	—	466
特別損失合計	—	717
税金等調整前四半期純利益	376,124	385,732
法人税、住民税及び事業税	65,927	126,492
法人税等調整額	113,908	58,038
法人税等合計	179,835	184,531
少数株主損益調整前四半期純利益	196,289	201,201
少数株主利益	—	—
四半期純利益	196,289	201,201

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,289	201,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,313	28,346
繰延ヘッジ損益	△37,436	△7,752
為替換算調整勘定	261,031	208,595
その他の包括利益合計	160,281	229,189
四半期包括利益	356,570	430,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	356,570	430,390
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。